◇国内シンポジウム No.2　医療・健康分野のデジタルトランスフォーメーション～医療アクセス改善から PHR 活用まで、デジタル技術が医療・健康をどう変えるのか？～

日時	プログラム内容
2024（令和 6）年 8 月 31 日（土） 13:30～16：50	主催：名桜大学環太平洋地域文化研究所 共催：一般社団法人 IT ヘルスケア学会（https://17th.ithc.mobi/） 後援：一般社団法人 SDGs デジタル社会推進機構（https://ods.or.jp/） 一般社団法人 PHR 普及推進協議会（https://phr.or.jp/） 名桜大学開学 30 周年・公立大学法人化 15 周年記念事業実施本部 会場：名桜大学多目的ホールおよびオンライン配信（zoom） ＜概要＞ 次第 13:00-13:05　開会の挨拶　奥本　正（名桜大学学長補佐） 13:05-13:30　基調講演　『医療へのデジタル技術の活用で楽しく健康に暮らせる社会へ』 宮田　俊男（早稲田大学大学院先進理工学研究科教授） 〇シンポジウム ＜第 1 部＞デジタル技術で医療がもっと身近なものになる ファシリテーター：木暮　祐一（名桜大学教授） 13:35-15:05　パネルディスカッション 話題提供　『医療は手のひらに』　木暮　祐一（名桜大学教授） 登壇者①　『オンライン診療が地域医療にどのように貢献したか』 黒木　春郎（医療法人嗣業の会 こどもとおとなのクリニックパウルーム理事長厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会」構成員） 登壇者②　『AI とヘルステックがもたらす未来の健康管理』 大石　怜史（ヘルスケアテクノロジーズ株式会社 代表取締役 兼 CEO） ＜第 2 部＞PHR でやんばるがどう変わるのか ファシリテーター：本村　純（名桜大学上級准教授）

	15:15-16:45　パネルディスカッション 話題提供　『PHR をめぐる最新の動向と地域医療への活用の可能性』 石見　拓（京都大学大学院医学研究科教授） 登壇者①　『公立沖縄北部医療センター開院への期待－北部地域における医療の現状と課題を踏まえて－』 田里　大輔（沖縄県北部地区医師会病院医療連携統括部長） 登壇者②　『アプリを通じた住民健診データの活用』 田中　健介（沖縄セルラー電話株式会社ソリューション営業本部ビジネス開発部部長） 16:45-16:50　閉会挨拶　奥本　正（名桜大学学長補佐）